

## (単元) 応急手当の意義とその基本

## (本時のねらい)

日常生活の中で実際に応急手当をしなければいけない場面では, 一刻も早く応急手当を行うことで, 傷害や疾病の悪化を軽減することができ, 「救える命」がある。

そのために必要な心肺蘇生法の意義や手順等を理解させ, 実習やグループでの活動等を通して, じっくりと考えることや, 様々な場面で自分が何をすべきかの状況を判断し, 自ら進んで行動する力を身につけてさせる。

## (ICT 活用方法)

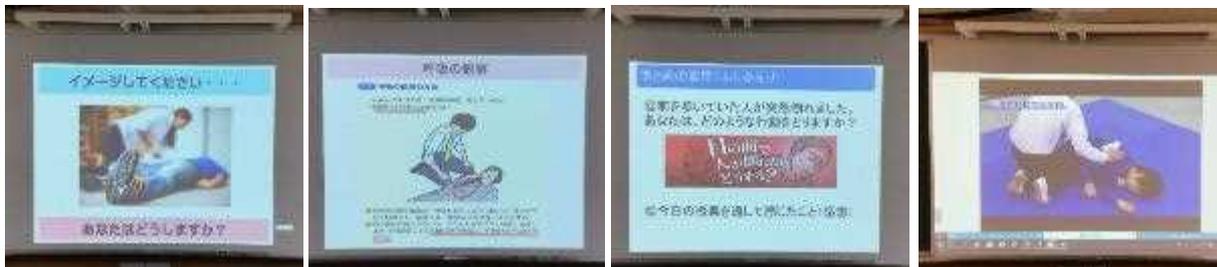
パワーポイントやデジタル教科書を用いて, 適切な応急手当は, 傷害や疾病の悪化を軽減できること, 応急手当には, 正しい手順や方法があることを理解させる。応急手当をしなければいけない場面の想定や適切な応急手当の方法をスライドや動画で確認することで, より実践をイメージしやすくなり, 実習にも積極的に取り組めることができる。最後に, 実際に学校内で応急手当をして一命をとりとめた動画を視聴し, 応急手当が必要な場面は, 自分の身の回りで起こりえることと, 様々な場面に遭遇した際に, 自分が何をすべきかの状況を判断し, 自ら進んで行動することが大切であることを理解させる。

## (本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT 活用方法	備考
導入 (5分)	○本時の学習目標を確認する。	・本時の学習目標を全員に確認させる。	・本授業の目標をスライドで確認	
展開 (40分)	○応急手当の意義について理解する。 ・ワークシートに記入する。 ・記入後グループになり意見交換する。 ・数グループが発表する。  ○応急手当の手順を理解する。 ・ワークシート	・ワークシートを使用し, 応急手当が必要な場面に遭遇した時の行動, 周囲の人がした行動についての理由について考えさせる。 ・各自でワークシートに記入させた後, 記入した自分の行動, 考えをグループで話し合うように指示する。  ・手順を板書し理解させる。 ・場面を想定しながら	・応急手当が必要な各場面の状況を写真やイラストを画面に表示する  ・応急手当の意義をスライドで確認後, デジタル教科書で「救命措置の効果」の動画を視聴する。 ・スライドで応急手当が必要な場面を想定できるようなイラ	・ワークシート ・観察 ・発表

	に記入する。  ・安全の確認， 反応の確認，救 援の依頼の実践 をする。	ワークシートに記入さ せる。  ・4～5人のグループ で役割を交代しながら 実践させる。	ストを見せ，発問を しながら応急手当の 手順を確認する。 ・デジタル教科書で 「回復体位」の動画 を視聴する。 ・応急手当のポイント を示したイラスト のスライドを画面に 投影しておく。	・ワーク シート ・発問 ・観察
まとめ (5分)	・本時の学習内 容を振り返りな がら，ワークシ ートに記入す る。	・応急手当が必要な場 面に遭遇し，救助され た事例を視聴し，そう いう場面に遭遇した際 は，実際に行うこと， 冷静に判断し，迅速に 行うことが大切である ことを理解させる。	・応急手当が必要な 場面に遭遇し，救助 されたニュース（動 画）を視聴する。	

(授業の様子)



(生徒の反応と課題，改善を要する点)

保健の授業では，実生活に結びつく単元が多く，実物を用意できない場合は，ICTを活用しスライドに映すことでより，自分の生活と結びつけて考えることができ，生徒の反応も良い場合が多い。将来の自分の健康について具体的にイメージをつけ，現在の生活の積み重ねの重要性を理解させるためには，ICT活用は授業で必須になってきている。ただ，スクリーンの大きさや教室の環境によって，文字が見えづらいと発言する生徒もいるのが現状である。各単元，全授業でICTを活用するのではなく，ワークシートや保健ノートを活用し，重要なところは板書をしながら進めるなどのICTを有効に活用していくことがこれからの課題である。